

# 2026年 新年交歓会

## 「高付加価値コミュニケーションサービス産業」として 社会に求められ続けるために

一般社団法人日本印刷産業連合会(磨 秀晴会長)は、1月7日(水)午後4時30分から東京・虎ノ門のThe Okura Tokyo 平安の間で、経済産業省をはじめとする政界・産業界からのご来賓や、日印産連会員10団体の皆様並びに賛助会員や関連業界団体の皆様など、多数の参加者をお迎えし「2026年新年交歓会」を開催した。

主催者である日印産連 磨会長の代表挨拶、経済産業省 商務情報政策局 商務・サービスグループ 商務・サービス政策統括調整官の江澤正名氏による来賓祝辞に続き、乾杯のご発声を一般社団法人 日本印刷産業機械工業会の森澤彰彦会長が務めた。開宴後の会場では、海江田万里 衆議院議員、山田美樹 前衆議院議員からのご祝辞や多くの祝電が披露されるなど、新年にふさわしい笑顔と活気あふれる会となった。

宴の終盤には、例年に倣い会員10団体の会長の皆様が壇上にそろい、記念撮影が行われた。全日本印刷工業組合連合会 濑田章弘会長の中締めのご挨拶と音頭によって、息のあった1本締めが会場を満たし、2026年の新年交歓会は終了した。

### 主催者代表のご挨拶

主催者を代表して新春の挨拶に立った磨会長は、新年交歓会開催の喜びとご出席ただいた方々への感謝を述べたのち、「昨年の日本経済は、好調なインバウンド需要や高水準の賃上げが景気を支える一方、物価上昇と人手不足が景気全体の回復を鈍らせました。印刷産業におきましても、急激な労務費、原材料費、エネルギーコストの上昇が各企業に大きな影響を与えており、物価上昇分を確実に転嫁していくことが喫緊の課題となりました。

また、本年1月1日より「下請法」が改正され、中小受託取引適正化法、通称「取適法」として施行されました。中小受託事業者における賃上げの原資の確保と利益保護を目的として、適用対象が拡大し、義務内容・禁止行為が厳格化されます。「取適法」および自主行動計画の遵守に向け、発注側・受注

側ともに、積極的に協議の場を設けていただくよう、お願ひいたします。

今後さらに、事業環境や人々の生活様式が大きく変わっていくなかで、我々印刷産業は長年培われた印刷技術を核に、時代の変化に対応した事業変革に取り組まなければなりません。「高付加価値コミュニケーションサービス産業」として社会に求められ続けるために、会員10団体が力を合わせ、サプライチェーン全体での取引適正化に取り組み、新たな価値創出と事業拡大に向けた連携・共創を推進して参りましょう」と述べ、日印産連へのさらなる支援と協力を仰ぎ、参会の皆様のいっそうの活躍を祈念し年頭の挨拶とした。

### ご来賓祝辞

ご来賓を代表し経済産業省 商務情報政策局 商務・サービス政策統括調整官の江澤正名氏より祝辞をいただいた。新年交歓会開催へのお祝いの言葉に続き「我が国では、数年間にわたるデフレの状況の中で、DXやGXといった成長分野の積極投資が芽吹きまして、一昨年に名目GDPが600兆円を超え、今はそれが700兆円を目指す勢いで伸びています。駿馬が野を駆けるように、この印刷業界もますます成長軌道へと乗っていただければと思います。

本年の経済政策の最重要点のポイントは「物価高に負けない賃上げ」です。国内の成長投資をしっかりとしていくことが重要だと考えております。昨年発足しました高市政権の所信表明において、さらなる取引の適正化、賃上げと設備投資を強力に後押しするという力強いメッセージを示したところです。賃上げを起点として、国民所得と経済全体の生産性を上げていこう



主催者を代表して挨拶する磨 秀晴会長



ということであり、そのための成長戦略ということです。その要になるのが価格転嫁であり、まとめますと「賃上げ」「設備投資」「価格転嫁」の3つが経済活性化の鍵になると考えております。

価格転嫁につきまして昨年9月に印刷業界の皆様に行なったアンケート調査では、価格見直しの提案もあり真摯な対応で値上げが実現したという前向きな意見も聞かれました。価格交渉の実施状況や数字も改善しているところです。ただし、印刷業界は他業種と比べますと依然低いところですので、引き続き積極的に取り組んでいただきたいと思います。印刷業界は業界内で閉じられた業界ではありません。経済産業省としても、発注元となる他の業界や地方自治体と連携して、価格交渉しやすいような環境を作り価格転嫁の流れになるような環境整備に努めて参りたいと思います。

経済産業省は力強い経済を実現するために、設備投資・省力化投資への支援策を講じています。令和8年度の税制改正において、大胆な設備投資促進税制を創設しました。これは全業種が対象であり、大企業であれば35億円以上、中小企業であれば5億円以上の設備投資に対して、7%の税額

控除もしくは即時消去が可能になります。長期・大規模な投資にご活用いただけるものと考えています。ただし、この税制を活用していただくためには、投資の計画を経済産業省が認定することになっていますので、こういった投資をして長期成長につなげたいということがあれば、ぜひ経済産業省にご相談いただければと思います。



来賓祝辞／江澤正名 経済産業省  
商務・サービス政策統括調整官

もうひとつ研究開発税制がございます。印刷は紙の印刷に留まらずいろいろなものに使われますし、各社で研究開発に取り組まれていると思います。研究開発を含む前向きな投資で企業・業界の成長につなげていただければと思います。

生産性向上については、ものづくり補助金や省力化補助金などがあります。生産性を向上させて製品の高付加価値化も図りつつ、人手不足や人口減少を設備投資で乗り切っていたことであるとか、エネルギーコストも非常に高い状況にあるなか、こうした施策をご活用いただき、企業と皆様の業界の発展につなげていっていただければと思います。

国民生活に身近な印刷産業がますます発展するように、芽吹き始めた日本経済の明るい兆しが力強く伸びて経済をいっそう活性化していく、そんな一年にしていきたいと思っております。良い年にしていきましょう」と結び、会場から大きな拍手が沸き起こった。

## 懇親会 開宴

各テーブルに乾杯用の飲み物が準備され、一般社団法人 日本印刷産業機械工業会の森澤彰彦会長より「穏やかな新年を迎えられましたこととお慶び申し上げます。日本印刷産業機械工業会は皆様に大変お世話になっており、心より感謝申し上げます。

私どもは国内生産の50%を輸出に頼っておりまして、



乾杯のご発声／一般社団法人  
日本印刷産業機械工業会の  
森澤彰彦会長

昨年来、関税から始まり日中関係の悪化と非常に苦しい一年を過ごして参りましたが、苦しい中でも皆様と一緒に印刷産業を盛り上げる活動を継続してまいりました。今年の干支は丙午ということで情熱と行動力というキーワードがよく出でてきます。また

リーダーシップをともなっていろいろな状況を打破していく年とも考えております。

日本印刷産業連合会様のグランドデザインには2030年に印刷産業のあるべき姿に生まれ変わろうとあるとお聞きしています。私どもも皆様と伴走させていただき、将来の印刷産業のあるべき姿と一緒に作り上げていければ幸いです」とのご挨拶があり、続く「乾杯!」のご発声によって新年交歓会はにぎやかに開宴した。

会の途中には、海江田万里衆議院議員と山田美樹前衆議院議員の両名より印刷業界への愛情あふれる祝辞をいただくなど、ほかにも多くの祝電が披露され、温かい和やかな会となった。



祝辞／海江田万里 衆議院議員



祝辞／山田美樹 前衆議院議員



午生まれの私が中締めのご挨拶をさせていただきます。冒頭にあった曇会長からのお話の通り、今年は10団体一丸となって、我々の様々なお客様の業界団体に対して価格転嫁を行って、持続的な経営ができるようになります。そしてまず何よりも頑張ってくれている社員の賃上げ、そして設備投資。皆さんと共に“よい循環”を作っていくたいと思います。そのために会員10団体集まって力を合わせて参りましょう」の言葉に続き、江戸十締め一本によって2026年の新年交歓会は晴れやかに終了した。



中締めのご挨拶／全日本印刷工業組合連合会 瀬田章弘会長



会員 10 団体の会長が登壇